

【レジメンNo】T-76

申請日	2025/6/16	承認日	2025/8/22	委員長	印
レジメン登録	2025/8/27	仮承認日		承認者	印

Ami+Lazer 1コース目	病名	非小細胞肺癌	呼吸器内 科	医師名	Dr
<b>対象</b>	EGFR遺伝子変異陽性進行・再発の非小細胞・非扁平上皮癌(2次治療以降)またはEGFR遺伝子エクソン20挿入変異陽性の非小細胞・非扁平上皮癌				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/ m <sup>2</sup> 等)	投与方法 div. iv. po等	投与スケジュール (日)																														
			1	5	8	10	15	20	22	29																							
アミバンタマブ(ライブリ バント)	*	div	○	○			○							○												○							
ラゼルチニブ(ラズクル ズ)	240mg/Body	P0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

投与間隔・休薬期間等：28日＝1コース

1コースまで

1コース

\*体重によりアミバンタマブの投与量と点滴速度が異なるので注意

終了後、【T-77】 Ami+Lazer 2コース目以降に移行すること

**【投与処方例（前投薬など）】**

Day1. 2. 8. 15. 22

レスタミンコーワ錠10mg 5錠

カロナール500mg 2錠

/po.ライブリバント投与30分前

## Day 1

① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div

- ② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL＋デキサート注9.9mg /div 30分
- ③ 【コネクタ1】 ファモチジン注20mg 1A /iv 5分
- ④ メイン【赤-2】 生理食塩液250mL＋ライブリバント350mg /div 50mL/hr→2時間後に75mL/hr  
終了後、メインキープの生理食塩液をすべて投与する

#### Day2. 8. 15. 22

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL＋デキサート注9.9mg /div 30分
- ③ 【コネクタ1】 ファモチジン注20mg 1A /iv 5分
- ④ メイン【赤-2】 生理食塩液250mL＋ライブリバント\* /div  
終了後、メインキープの生理食塩液をすべて投与する

#### 【投与にあたって】

1コース目Day1. 2は必ず入院で行うこと  
Day15以降は、中心静脈からの投与も可能

#### 【点滴速度】

Infusion reactionが認められない場合に投与開始2時間後に投与速度をあげることができる

体重80kg未満

1コース目Day1 投与量350mg：開始時50mL/hr→2時間後75mL/hr

1コース目Day2 投与量700mg：開始時50mL/hr→2時間後75mL/hr

1コース目Day8 投与量1050mg：85mL/hr

1コース目Day15 投与量1050mg：125mL/hr

1コース目Day22 投与量1050mg：125mL/hr

体重80kg以上

1コース目Day1 投与量350mg：開始時50mL/hr→2時間後75mL/hr

1コース目Day2 投与量1050mg：開始時35mL/hr→2時間後50mL/hr

1コース目Day8 投与量1400mg：65mL/hr

1コース目Day15 投与量1400mg：85mL/hr

1コース目Day22 投与量1400mg：125mL/hr

Infusion reactionがおきた場合、本剤を中断し、主治医に電話を行う。

Garde1.2で治療対応し回復した場合、Infusion reaction発現時の半分の速度で本剤を再開すること。

30分後にInfusion reactionの症状が認められない場合、中断時の速度まであげることができる。

その2時間後にInfusion reactionの症状が認められない場合、同日に予定されていた最高投与速度まであげることができる。

### 【副作用によるAmivantamabの減量基準】

副作用発現時投与量 1050mg→1段階減量：700mg→2段階減量：350mg

1400mg→1段階減量：1050mg→2段階減量：700mg

3段階減量は中止

### 【副作用によるLazertinibの減量基準】

初回投与量240mg/日→1段階減量：160mg/日→2段階減量：80mg/日

3段階減量は中止

### 【検査等確認事項】

心臓等に及ぼす影響 本レジメン開始前に心エコー・心電図検査・凝固検査を実施

DVT、PTEがないか評価を行う  
血圧、心臓、血栓に影響を及ぼす薬剤の確認

### 【注意すること】

静脈血栓症の発症抑制のために、治療開始後4ヶ月以内はエリキュース1回2.5mg 1日2回内服を行う  
また、すでに静脈血栓症などがある患者は、エリキュースやDOACの内服を行う  
皮膚障害予防として、「EGFR阻害薬の予防セット」を使用する  
予防抗菌薬はドキシサイクリンを推奨  
また、既存で白癬菌などがないか確認を行うこと

#### 制吐剤セット処方19 2重抗体薬の副作用予防

ライブリバント投与30分前に内服

レスタミンコーワ錠10mg 5錠

カロナール500mg 2錠

参考文献：ライブリバント・ラズクルーズ併用適正ガイド